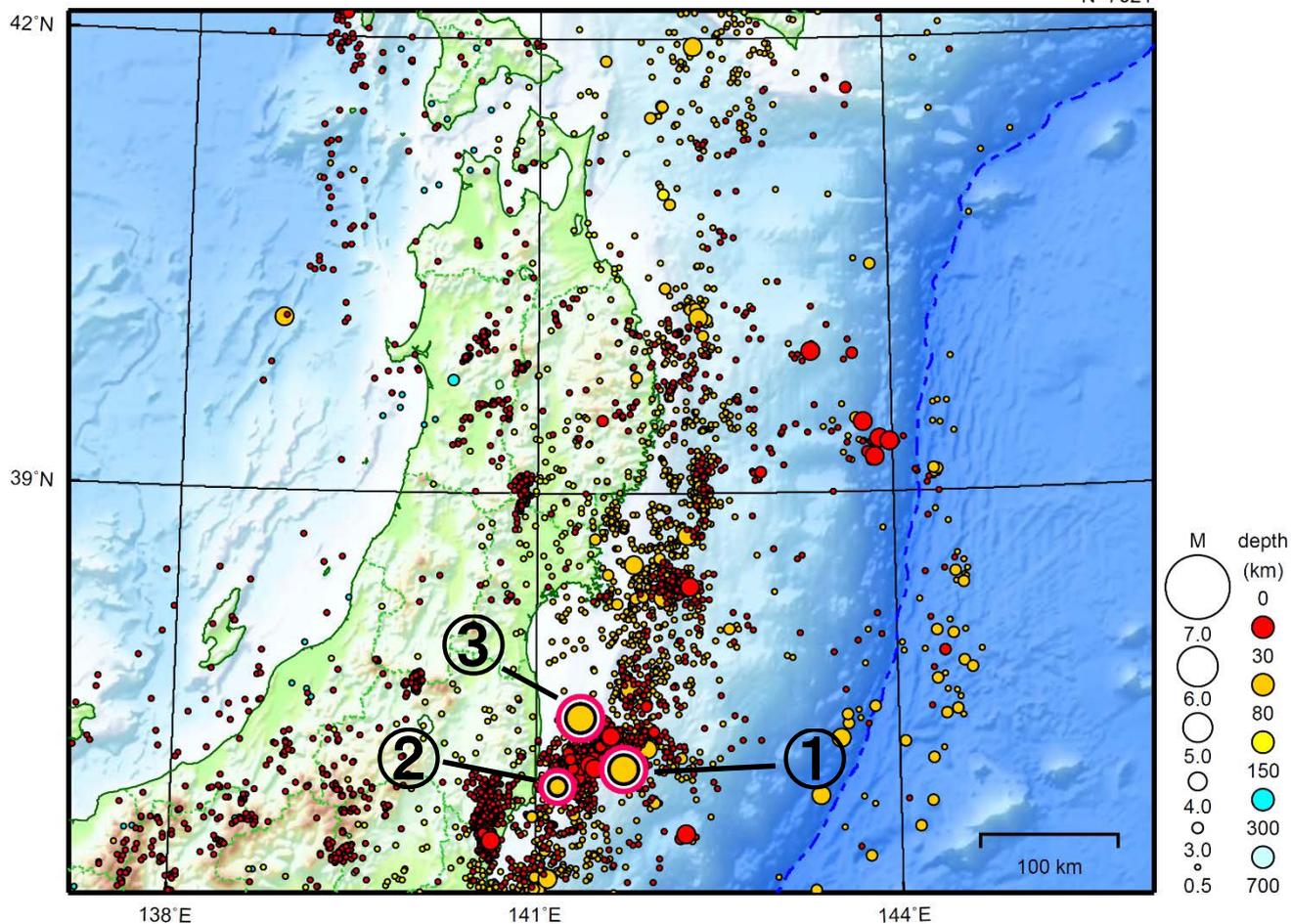


東北地方

2017/02/01 00:00 ~ 2017/02/28 24:00

N=7621



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

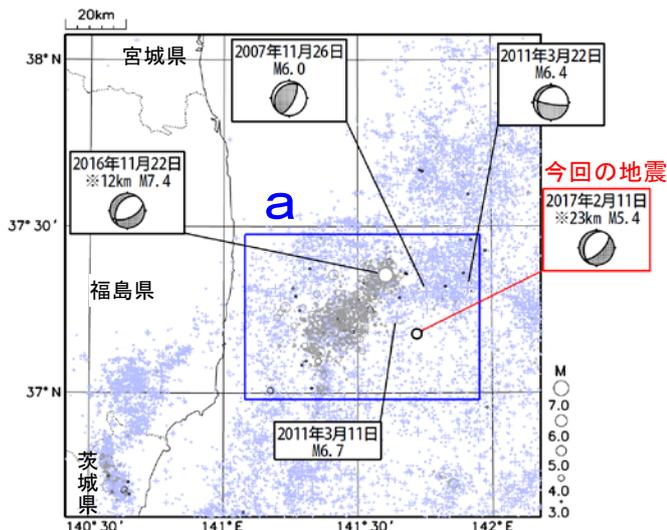
- ① 2月11日に福島県沖でM5.4の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 2月27日に福島県沖でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。
- ③ 2月28日に福島県沖でM5.7の地震（最大震度5弱）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

2月11日 福島県沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日～2017年2月28日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2016年11月21日以前に発生した地震を+、
2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、
2017年2月に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解



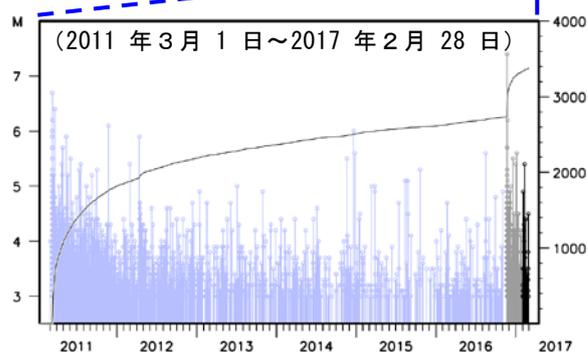
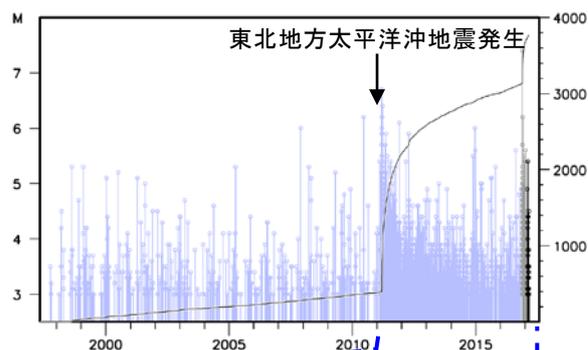
※ 2016年11月22日の地震 (M7.4) と今回の地震の深さはCMT解による。

2017年2月11日06時05分に福島県沖の深さ23km (CMT解による) でM5.4の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生し、発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

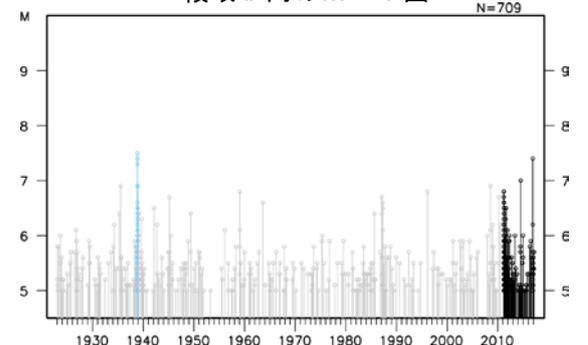
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M5.0を超える地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化した。今回の地震は、2016年11月22日にM7.4の地震が発生した後に地震活動が活発化している領域よりも沖合側で発生した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図*



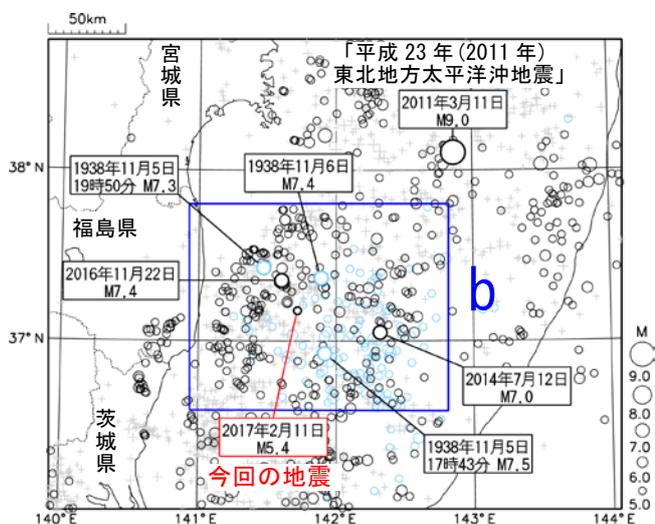
領域b内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2017年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示



* 2016年11月22日の地震 (M7.4) の発生直後には、未処理のデータがある。

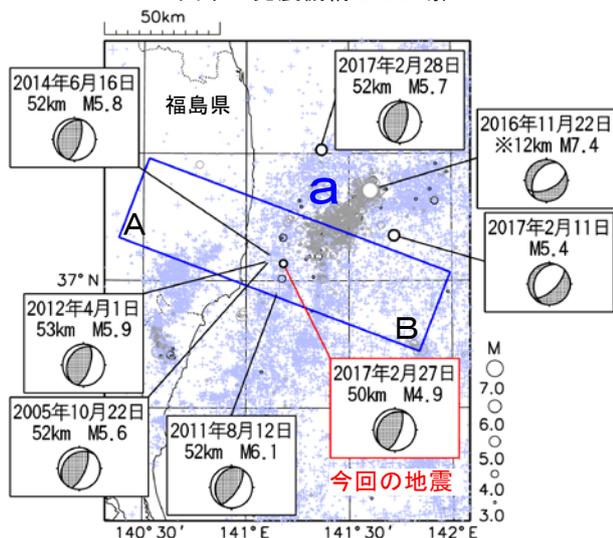
2月27日 福島県沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日～2017年2月28日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

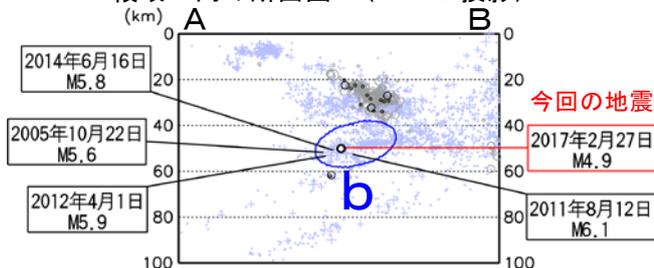
2016年11月21日以前に発生した地震を+、
2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、
2017年2月に発生した地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解



※ 2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さはCMT解による。

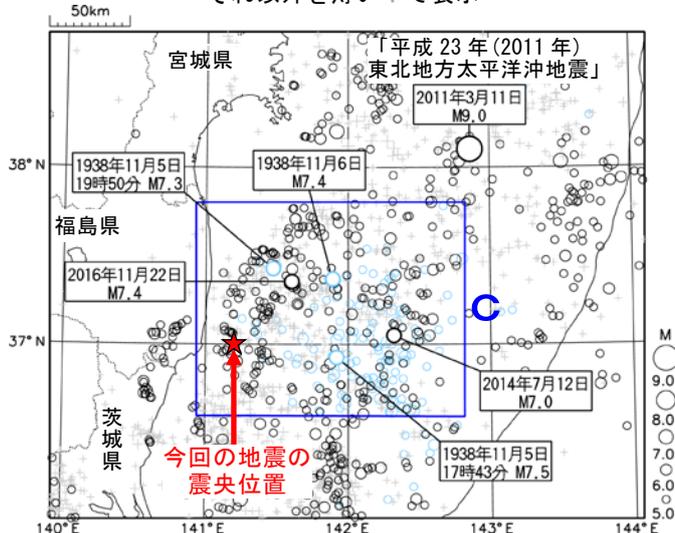
領域a内の断面図* (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2017年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

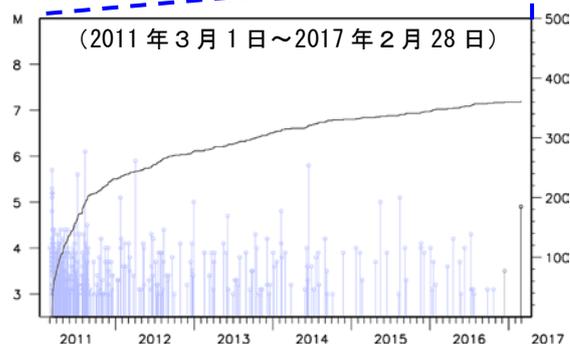
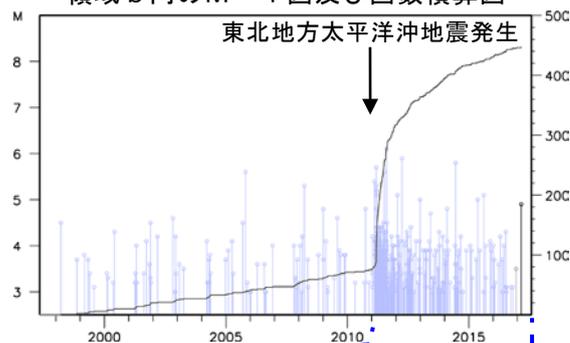


2017年2月27日00時03分に福島県沖の深さ50kmでM4.9の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

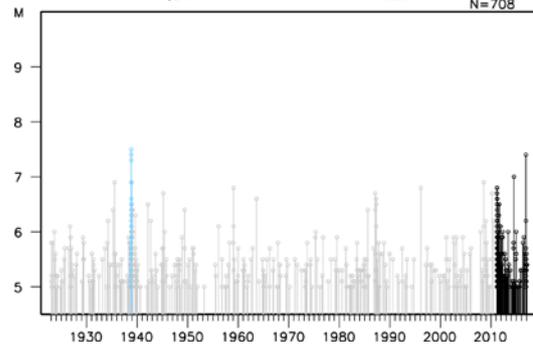
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化し、M6.0を超える地震も発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図*



領域c内のM-T図



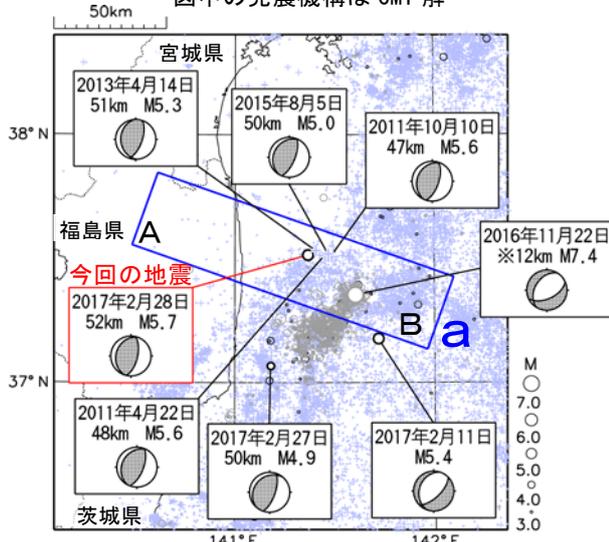
* 2016年11月22日の地震 (M7.4) の発生直後には、未処理のデータがある。

2月28日 福島県沖の地震

震央分布図*

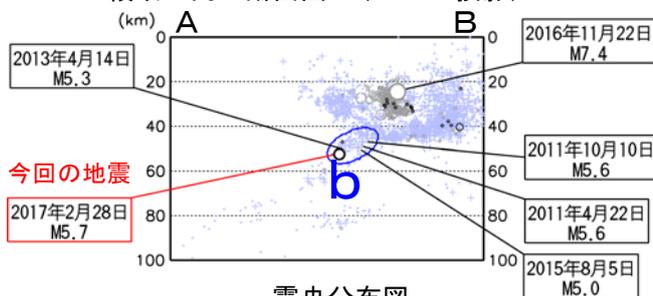
(1997年10月1日～2017年2月28日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2016年11月21日以前に発生した地震を+、
2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、
2017年2月に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解



※ 2016年11月22日の地震 ($M 7.4$) の深さはCMT解による。

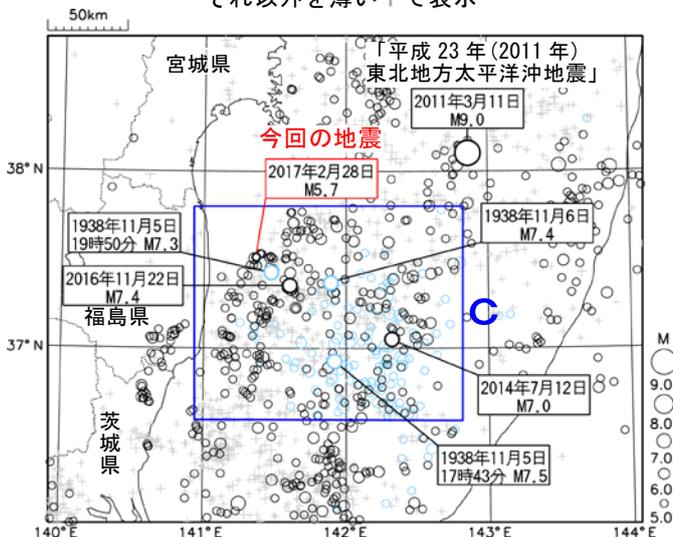
領域a内の断面図* (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2017年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

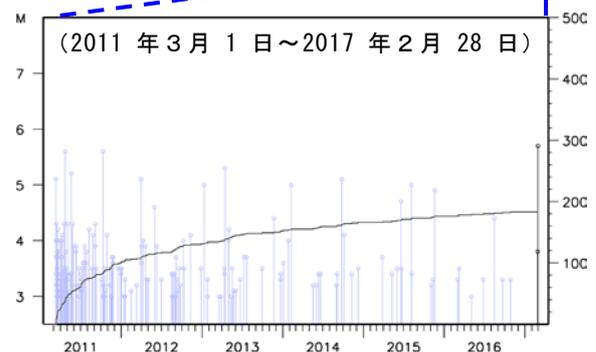
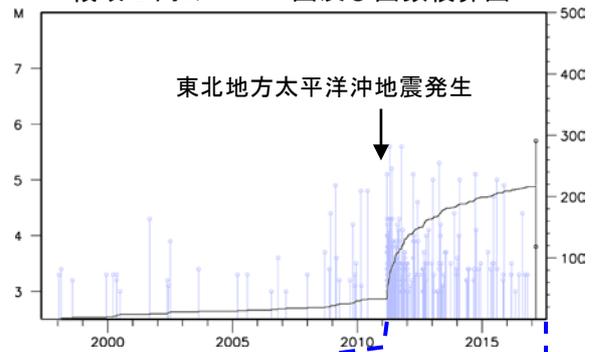


2017年2月28日16時49分に福島県沖の深さ52kmで $M 5.7$ の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

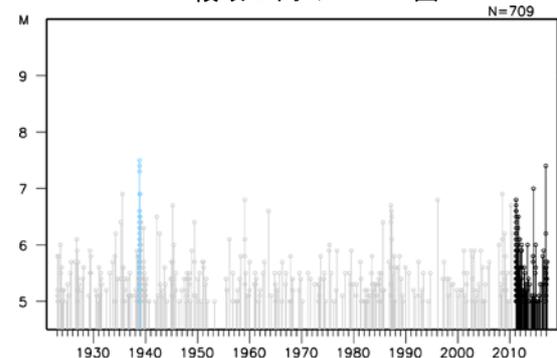
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化し、 $M 5.0$ を超える地震も発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分に $M 7.5$ の地震が発生した。この地震により、宮城県花湊で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までに $M 6.0$ 以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図*



領域c内のM-T図



* 2016年11月22日の地震 ($M 7.4$) の発生直後には、未処理のデータがある。